

打合せ経費

名称	規格	員数	単位	単価	金額	備考
測量主任技師		1.5	回			着手・中間・最終
測量技師		1	回			着手・最終
測量技師補		0.5	回			中間
合計	(人件費)					

打合せ経費計上額 円

作業区分の変化率の算定【住次郎】

実施面積	:	1.01 km ²	※表〇-〇は地籍調査事業費積算基準書より
一筆平均面積	:	1,359 m ² (調査前)	
	:	1,826 m ² (調査後)	
縮尺	:	1/1000	視通条件 : 山 I
精度	:	乙2	筆の形状 : 不整形
傾斜条件	:	中傾斜地	計画区からの距離 : 16.0 km

変化率の算定

$$G工程 = \left(\frac{\gamma_G}{\gamma_G} \right) \times 実施面積 = 1.06 \quad \text{表1-20}$$

$$= \left(\frac{1.06}{1.07} \right) \times 1.01$$

$$H1工程 = \left(\frac{\gamma_H}{\gamma_H} \right) \times 実施面積 = 0.71 \quad \text{表1-20}$$

$$= \left(\frac{0.71}{0.72} \right) \times 1.01$$

H工程

$$複図枚数 = \frac{標準枚数}{標準枚数} \times 実施面積 \times 2 \quad \text{(2部作製するため※1)} \quad \text{表1-8}$$

$$= \frac{21}{21.21} \times 1.01 \div 2 = 22 \text{ 枚}$$

$$= \frac{22}{44}$$

$$複図費 = \left(\frac{工程基準額}{100} \div \frac{100}{100} \right) \times 複図枚数 = 44 \quad \text{※2}$$

H2工程(閲覧)の歩掛について

積算基準書では技師・技師補・助手の上限が20であるが、以下のとおりとする。

○技師・技師補

閲覧期間20日間の内、14日(内休日1日以上)は、技師・技師補を配置すること。

○助手

閲覧開始から7日間は助手を配置すること。

※1 H工程複図2部について

登記所保管用と税務課保管用の2部とする。

(地籍調査作業規程準則第89条第2項及び地籍調査関係通達昭和48年3月20日付け経済企画庁総合開発局国土調査課長指示 による)

※2 100円未満切り捨て